

長寿医療研究開発費 2023年度 総括研究報告（総合報告）

要介護者・認知症者と家族の重度化予防・予後改善に資するコホート構築のための  
学際的基盤研究（21-17）

主任研究者 齋藤 民 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（部長）

研究要旨

本研究では要介護者・認知症者と家族の重度化予防・予後改善要因を認知症等の疾患管理や心身機能保持、介護環境、生活習慣、社会生活も含め包括的に検証するための学際的コホート構築を行った。3年間の研究期間において、（1）軽度要介護認定者（要支援1～要介護1）とその家族を対象とするベースラインデータの取得、また調査項目に関連して、（2）介護サービスへの意思決定参画の検討、（3）介護負担尺度の作成を行った。本コホートは、将来的には、要介護認定前から死亡までの公的データと新規認定時から死亡までの調査データの突合によるデータ構築を行い、重度化リスクを包括的要因から特定する。さらに本人と家族を対象とするケアの開発・検証や経済的評価まで実施する長期研究を計画し、厚生労働省の LIFE 構築や保険者による介護保険事業実施等、科学的介護の推進に有用な知見の提供を志向する。

主任研究者

齋藤 民 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（部長）

分担研究者

中川 威 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（主任研究員）

岡橋 さやか 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（主任研究員）

（2021年11月1日～2024年3月31日のみ）

進藤 由美 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（研究員）

金 雪瑩 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（研究員）

（2022年4月1日～2024年3月31日のみ）

小松 亜弥音 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（特任研究員）

石原 眞澄 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（特任研究員）

（2021年4月1日～2022年3月31日のみ）

野口 泰司 国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部（外来研究員）

研究期間 2021年4月1日～2024年3月31日

## A. 研究目的

要介護認定軽度認定者（要支援～要介護1程度）が急増し、重度化予防が急務である。軽度認定者の重度化予防を介護保険サービスのみから解決するには限界があり、認知症等の疾患管理や心身機能保持、介護環境、生活習慣、社会生活も含めた包括的検証から広く支援を再構築する必要がある。とりわけ認知機能低下症状を有する人の重度化リスクは高い可能性が報告され（Lin et al., 2017）、多彩な学問領域から本人とともに介護うつ等家族要因、専門職との関わりも含めたリスク特定が急務と考える。国内には一般高齢者対象の大規模コホートはあるが、軽度要介護者を対象に包括的検討を可能とするコホートは知る限りみられない。

上記を踏まえ、要介護者・認知症者と家族の重度化予防・予後改善要因を包括的に検証するための学際的コホート構築を目指す。さらに、将来的には、本人と家族を対象とするケア検証や経済的評価まで実施する長期研究を計画する。これらの計画を視野に入れ、本研究では、要介護者・認知症者と家族を対象とするベースラインデータ取得と解析を目的とする。

## B. 研究方法

### （1）研究開始当初全体計画

#### 対象者

重度化予防を念頭に基本的に要支援～要介護1程度の軽度認定者とする。認知症者が少なからず含まれることを想定し、調査内で認知機能を測定するが、認知症に関する情報の取得方法（調査、レセプト、認定情報等）の詳細は引き続き検討する。

#### コホートの特徴

図1に、コホートの特徴を示す。特記すべき特徴は以下の通りである。

- ・医療・介護の給付データ、健診データ、要介護認定情報、死亡等の公的データ突合を行う。さらに将来的には重度化予防のための地域づくり評価指標も突合する。これにより重症化予防・予後改善のアウトカムについて包括的項目との関連を解析できる。
- ・経時的に対象者への追跡調査を実施する。これにより公的データでは追跡できない心身機能、心理変数、生活状況の変化とその要因を解析できる。
- ・要介護者・認知症者と家族の双方のデータを得てペアの解析を行う他、担当する介護支援専門員データも突合し、ケアマネジメントが本人や家族にもたらす影響も解析する。
- ・重度化予防のための介入プログラム開発も同時に実施し、将来的にはサブコホート内での検証を念頭に置いている。

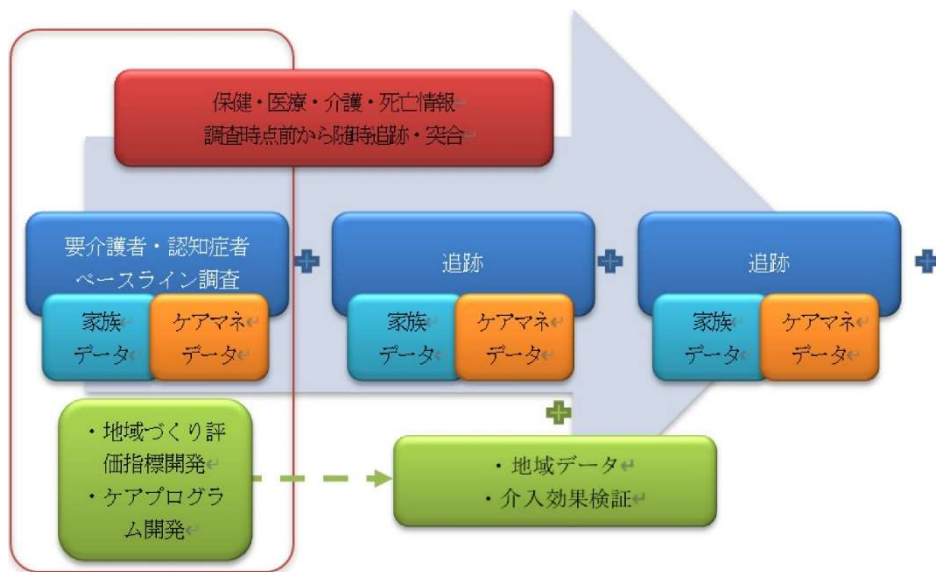


図1 コホートの特徴

## 将来的展望

- ・各重度化リスクを特定するだけでなく、「どの要因の改善（軽減）が社会全体にもたらすインパクトが大きいのか」といった人口寄与危険割合や経済効果の算出、ケアプログラム検証までを視野に入れた長期的研究を実施する。
- ・本研究成果をもとに多機関共同による複数地域での大規模実施を志向する。

### （2）コホート構築のためのベースラインデータ取得

#### 1. 調査対象地域と対象者

調査対象地域は、愛知県知多北部4市町（東海市、知多市、大府市、東浦町）とした。対象地域と調整し、郵送調査、会場調査、訪問調査を実施予定であり、本人－家族ペアと独居者の双方が解析可能なケース数を確保するよう設計した。本人票、家族票を用い、本人票では認知機能、生活機能、心身機能、well-being、疾患、住環境、ライフスタイル、社会生活、サービス利用、介護状況などを含み、家族票では、心身機能、well-being、介護ストレス、社会生活などを含む。

対象者は、対象地域に地域在住で、調査実施から過去1年間で新規の軽度要介護認定（要支援1～要介護1）を受けた要介護者本人とその家族とした。

#### 2. パイロット調査

追跡時点で要介護度が重度化した調査参加者では、本人評価を取得することが困難になると考えられる。本人評価が収集できない場合にも収集可能な代理人評価を利用することで追跡データの取得が可能となることから、本人評価と代理人評価が一致する調査項目を特定し、使用可能な項目を選定するために、パイロット調査を実施した。

パイロット調査は、2023年度に1市（大府市）を対象に、要介護者本人と家族を対象に訪問面接により行った。なお、要介護者本人の認知機能による結果の違いを検討するためにDASC-8（認知・生活機能質問票）による認知機能評価も併せて実施した。

### 3. 本調査

対象地域の自治体と研究協定・覚書を締結後、要介護認定データを受領し、新規の軽度要介護認定者の同定と、パイロット調査対象者・死亡・転居等での調査非該当者の除外を通じ、対象者名簿の作成を行う。調査対象者には、郵送調査により自記式調査票への回答依頼を行い、また大府市・東浦町在住の者には併せて訪問面接調査の希望を聴取し、希望者に対して会場（国立長寿医療研究センター）または自宅での訪問面接調査を行った。

調査は、本人票と家族票を用いて行われ、同居家族がいる場合は家族評価も同時に行い、独居など家族が不在の場合は本人評価のみを実施した。

#### （3）介護サービス利用の意思決定への参画と予後の検討

コホート調査で取得する項目としての介護サービス利用についての要介護者の意思決定参画を検討するに先立ち、意思決定参画と予後（認知機能低下）との関連性について二次データ解析を行い、その予測妥当性を検討した。

使用データは、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブで公開されている「日米 LTCI 研究会東京・秋田調査」の個票データである。この調査は、東京都葛飾区と秋田県大館市の65歳以上地域在住要介護・要支援認定者と主介護者を対象としたパネル調査で、2003年から2007年にかけて2年毎に計3回調査が実施されている。

まず、第1回(2003年)調査の在宅要介護高齢者本人と主介護者のペアの回収票で使用変数に欠損のない643組を分析対象として、介護の意思決定への参画に関連する要因を横断的に検討した。先行研究の知見から抽出された本人・主介護者要因を独立変数、意思決定関与の有無を従属変数とする多重ロジスティック回帰分析を行った。

次に、2年間の縦断データを用いて、在宅要介護高齢者の介護の意思決定への参画が認知機能に及ぼす影響を縦断的に検討した。第1回調査時にペアで回答があり、本人の認知機能低下がみられず、第2回(2005年)調査に回答があつて使用変数に欠損のない219組を分析対象とした。意思決定関与の有無を独立変数とし、認知機能低下有無を従属変数とする多重ロジスティック回帰分析を行った。

#### （4）コホートで調査可能な評価尺度（介護負担尺度）の作成

ベースラインデータの取得に向け、調査項目として予定している家族の介護負担等の介護状況の評価尺度について、調査実施可能性を担保した短縮版の作成を行った。インターネット調査を用いて、在宅介護を行う家族介護者をリクルートし、多次元的な介護負担尺度である Caregiver Reaction Assessment 日本語版(CRA-J; Misawa et al., 2009)などの回

答データを収集した。各下記項目において因子負荷量の高い項目を選定し短縮版の作成を行い、確証的因子分析によりそのモデル適合性を検討するとともに、それぞれ外的基準尺度との相関分析を行い基準関連妥当性の検証を行う分析手続きを検討した。

(倫理面への配慮)

全ての研究は、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反審査委員会の承認のもと実施した(承認番号:1680、1740)。

## C. 研究結果

### (1) コホート構築のためのベースラインデータ取得

愛知県知多北部4市町の地域在住で、新規に軽度要介護認定(要支援1~要介護1)を受けた高齢者とその家族を対象に、コホート構築のためのベースラインデータの取得を行った。2023年10月~2024年3月にかけて、郵送および訪問面接により、身体、社会、心理的変数を含む包括的な調査を実施し、合計615人の要介護高齢者の郵送調査データおよび81人の訪問面接調査データを取得した。訪問面接調査データのうち、要介護者と家族の42組のペアデータを取得ができた。また、少数のパイロット調査データを用いた検討では、要介護高齢者本人と家族の回答一致率から、要介護者の身体的健康や一部の社会的側面、過去のライフイベントについては家族による代理回答が利用可能である結果が得られた。本結果の一部は日本発達心理学会第35回大会にて報告した(中川他, 2024)。

### (2) 介護サービス利用の意思決定参画と予後の関連

介護の意思決定への関与に関連する要因を横断的に検討した結果、要介護者の要介護度、介護者における本人の意向への尊重が有意に関連した。また、要介護者と介護者の関係性が、意思決定への関与に関連を示す傾向にあった。

また、介護の意思決定への関与がその後の認知機能に及ぼす影響を縦断的に検討した結果、非常に関与している者と比べて、希望するケアが明確でない者は、認知機能が低下するリスクが高かった。

以上の結果は、原著論文として国際誌にて発表を行った(Komatsu A, et al., 2022; Komatsu A, et al., 2023)。

### (3) コホートで調査可能な評価尺度(介護負担尺度)の作成

最終的に、934人の在宅介護者のデータを取得した。5つのサブドメインについて因子負荷量が高い項目をそれぞれ2項目選択し、10項目から成る短縮版(CRA-J-10)を作成した。確証的因子分析により良好なモデル適合性が示され、高い内的整合性も確認された。CRA-J-10は原尺度のCRA-Jとの高い相関関係を示し、またZARIT介護負担尺度な

どの外的基準となる他の評価指標との良好な相関が確認できたことから、本尺度の同時妥当性が明らかになった。本研究結果は、国際誌にて報告されている (Noguchi T. et al., 2024)。

#### D. 考察と結論

研究期間3年間のうちに、研究デザインと調査項目の精査、自治体との研究協定・覚書の締結、自治体からの公的データの受領および本調査の実施による軽度要介護者のコホート構築のためのベースライン調査を実施した。

本研究により、4市町における615人の軽度要介護認定高齢者の身体的、社会的、心理的側面に関する調査データを、また訪問面接調査を通じ81人の調査データと、42組の要介護者本人と家族介護者のペアデータを取得できた。加えて、その調査項目として、要介護の重度化に関連する介護サービス利用への意思決定参画を同定し、ベースラインの調査項目に含めた。また、介護負担尺度の短縮版を開発し、ベースラインの家族介護者の調査項目に含めた。一方で、介護支援専門員を対象にした調査データは引き続き検討し、データリンケージを計画している。

なお、ベースラインデータは、2023年度と2024年度の2期に分けて取得する計画であり、今後は追加のベースラインデータの取得によるサンプルサイズの拡大と、介護レセプトデータの突合を通じたその後の死亡や入所、要介護度の変化、介護サービス利用等の追跡データの構築、さらには郵送および訪問面接調査の繰り返し実施による身体的、社会的、心理的項目のパネルデータ化を通じて、要介護の重度化予防・予後改善に資するコホートを構築していく予定である。

#### E. 健康危険情報

該当なし

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

2023年度

1. Koga C, [Saito T](#), Hanazato M, Kondo N, Saito M, Ojima T, Kondo K. Living in public rental housing is healthier than private rental housing a 9-year cohort study from Japan Gerontological Evaluation Study. *Scientific Reports*,14(1):7547. Mar 30 2024.
2. Togashi S, Ohinata H, [Noguchi T](#), Wakabayashi H, Nakamichi M, Shimizu A, Nishioka S, Momosaki R. Polypharmacy, potentially inappropriate medication, and

- dysphagia in older inpatients; A multi-center cohort study. *Annals of Geriatric Medicine and Research*.28(1) : 86-94.May 2024.
3. Noguchi T, Shang E. Association of positive attitudes toward beauty and personal grooming with subjective well-being among older women. *Geriatrics & Gerontology International*.Suppl1 399-400.Mar 24 2024.
  4. Noguchi T, Nakagawa T, Sugimoto T, Komatsu A, Kuroda Y, Uchida K, Ono R, Arai H, Takashi Sakurai T, Saito T. Behavioral and psychological symptoms of dementia and mortality risk among people with cognitive impairment: an 8-year longitudinal study from the NCGG-STORIES. *Journal of Epidemiology*. doi: 10.2188/jea.JE20230343. Online ahead of print. Mar 23 2024.
  5. Noguchi T, Nakagawa T, Jin X, Komatsu A, Togashi S, Miyashita M, Saito T. Development of a short form of the Japanese version of the Caregiver Reaction Assessment (CRA - J - 10) among informal caregivers of older adults. *Geriatrics & Gerontology International*.24(3) : 290-296.Mar 2024.
  6. Kubo Y, Noritake K, Noguchi T, Hayashi H. Phase angle as a nutritional assessment method in patients with hip fracture: a cross-sectional study. *Annals of Geriatric Medicine and Research*.28(1) : 95-100.Mar 2024.
  7. Kuroda Y, Sugimoto T, Satoh K, Nakagawa T, Saito T, Noguchi T, Komatsu A, Uchida K, Fujita K, Ono R, Arai H, Sakurai T. Relationship between mortality and vitality in patients with mild cognitive impairment/dementia: An 8 - year retrospective study. *Geriatrics & Gerontology International*.Suppl 1 : 221-228.Mar 24 2024.
  8. Komatsu A, Nakagawa T, Noguchi T, Jin X, Okahashi S, Saito T. Decision - making involvement and onset of cognitive impairment in community - dwelling older care recipients: a 2 - year longitudinal study. *Psychogeriatrics*.24(2) : 195-203.Mar 2024.
  9. Sugimoto T, Sakurai T, Uchida K, Kuroda Y, Tokuda H, Omura T, Noguchi T, Komatsu A, Nakagawa T, Fujita K. Impact of Type 2 Diabetes and Glycated Hemoglobin Levels Within the Recommended Target Range on Mortality in Older Adults With Cognitive Impairment Receiving Care at a Memory Clinic: NCGG-STORIES. *Diabetes Care*.47 (5) 864-872,Mar 12 2024.
  10. Nakagawa T, Ito D, Yasumoto S. Cohort Differences in Aging Self-Perceptions Among Japanese Older Adults.*SAGE Open*.14(1)1-11.Feb 29 2024.
  11. 伊藤大介, 斎藤民, 村田千代栄, 近藤克則. 高齢者における地域包括支援センター等への援助要請意図と地域のソーシャル・キャピタルの関連—マルチレベル横断研究—. *老年社会科学* 2024;45(4):327-337, 2024年1月31日
  12. Okahashi S, Noguchi T, Ishihara M, Osawa A, Kinoshita F, Ueda I, Kamiya M,

- Nakagawa T, Kondo I, Sakurai T, Arai H, Saito T. Dyadic Art Appreciation and Self-Expression Program (NCGG-ART) for People with Dementia or Mild Cognitive Impairment and Their Family Caregivers: A Feasibility Study. *Journal of Alzheimer's Disease* ;97(3):1435-1448. Jan 17 2024.
13. Kubo Y, Fujii K, Noguchi T, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Longitudinal association between oral function and underweight onset among community - dwelling older adults: Role of regular self - weighing. *Special Care in Dentistry*, doi: 10.1111/scd.12954. Jan 8 2024.
  14. 野口泰司, 斎藤民. 認知症のステイグマ. *現代医学*.70 (2) 34-39. 2023年12月27日
  15. Nakagawa T, Yasumoto S, Kabayama M, Matsuda K, Gondo Y, Kamide K, Ikebe K. Association between prior-night sleep and next-day fatigue in older adults: a daily diary study. *BMC Geriatrics*.23(1) : 817. Dec 7 2023.
  16. Nakagawa T, Kobayashi E. Cohort differences in trajectories of life satisfaction among Japanese older adults. *Psychology and Aging* .38(7) 601-614. Nov 2023.
  17. Saito T, Noguchi T, Nakagawa T, Komatsu A. Strategies for fostering residents' positive attitude toward social participation of people with dementia: A cross-sectional analysis. *Geriatrics & Gerontology International*. Sep 18 2023.
  18. Komiyama J, Iwagami M, Mori T, Kuroda N, Jin X, Ito T, Tamiya N. Factors Associated with Outpatient Cardiac Rehabilitation Participation in Older Patients: A Population-Based Study Using Claims Data from Two Cities in Japan. *Annals of Clinical Epidemiology* 4(1) 11-19. Apr 2022.
  19. Sugimoto T, Sakurai T, Noguchi T, Komatsu A, Nakagawa T, Ueda I, Osawa A, Lee S, Shimada H, Kuroda Y, Fujita K, Matsumoto N, Uchida K, Kishino Y, Ono R, Arai H, Saito T. Developing a predictive model for mortality in patients with cognitive impairment. *International Journal of Geriatric Psychiatry*.38(11).1 Nov 2023.
  20. Noguchi T, Nakagawa T, Komatsu A, Shang E, Murata C, Saito T. Role of Interacting and Learning Experiences on Public Stigma Against Dementia: An Observational Cross-Sectional Study. *Dementia*. doi 10.1177/14713012231207222. Oct 19 2023.
  21. Hamasaki Y, Sakata N, Jin X, Sugiyama T, Morita K, Uda K, Matsuda S, Tamiya N. Facility staffing associated with potentially avoidable hospitalizations in nursing home residents in Japan: a retrospective cohort study. *BMC geriatrics*.23(1)566. Sep 15 2023.
  22. Mak HW, Noguchi T, Bone J, Wels J, Gao Q, Kondo K, Saito T, Fancourt D. Hobby engagement and mental wellbeing among people aged 65 years and older in 16 countries. *Nature Medicine*. doi 10.1038/s41591-023-02506-1. (epub ahead of print)



Sep 11, 2023.

23. Noguchi T, Ikeda T, Kanai T, Saito M, Kondo K, Saito T. Association of social isolation and loneliness with chronic low back pain among older adults: A cross-sectional study from Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES). *Journal of Epidemiology*, doi 10.1038/s41591-023-02506-1. (epub ahead of print) Sep 9 2023.
24. Noguchi T, Shang E. Art engagement and psychological well-being among community-dwelling older adults in Japan: an observational cross-sectional Study. *Public Health*.222 178-185. Aug 7 2023.
25. Noguchi T, Nakagawa T, Komatsu A, Shang E, Murata C, Saito T. Development of a Short Version of the Dementia Stigma Assessment Scale. *Asia Pacific Journal of Public Health*.11;10105395231186007. July 11 2023.
26. Akema S, Mameno T, Nakagawa T, Inagaki H, Fukutake M, Hatta K, Murotani Y, Tsujioka Y, Hagino H, Higashi K, Takahashi T, Wada M, Maeda Y, Gondo Y, Kamide K, Kabayama M, Ishizaki T, Masui Y, Ogata S, Ikebe K. Relationship between occlusal force and psychological frailty in Japanese community - dwelling older adults: The Septuagenarians, Octogenarians, Nonagenarians Investigation with Centenarians study. *Journal of the American Geriatrics Society*.71(6):1819-1828. Jun 2023.
27. Hori N, Ishizaki T, Masui Y, Yoshida Y, Inagaki H, Ito K, Ishioka LY, Nakagawa T, Ogawa M, Kabayama M, Kamide K, Ikebe K, Arai Y, Gondo Y. Criterion validity of the health assessment questionnaire for the national screening program for older adults in Japan: The SONIC study. *Geriatrics & Gerontology International*.Volume 23,Issue 6 p.437-443.Jun 2023.
28. Choe H, Gondo Y, Kasuga A, Masui Y, Nakagawa T, Yasumoto S, Ikebe K, Kamide K, Kabayama M, Ishizaki T. The Relationship Between Social Interaction and Anxiety Regarding COVID-19 in Japanese Older Adults. *Gerontology and Geriatric Medicine*.9 233372142311757-233372142311757. May 2023.
29. Li J, Nakagawa T, Kojima M, Nishikimi A, Tokuda H, Nishimura K, Umezawa J, Tanaka S, Inoue M, Ohmagari N, Yamaguchi K, Takeda K, Yamamoto S, Konishi M, Miyo K, Mizoue T. Underlying medical conditions and anti-SARS-CoV-2 spike IgG antibody titers after two doses of BNT162b2 vaccination: A cross-sectional study. *PLOS ONE*.18(4) e0283658-e0283658.Apr 6 2023.

2022 年度

1. Kino S, Stickley A, Arakawa Y, Saito M, Saito T, Kondo N. Social isolation, loneliness, and their correlates in older Japanese adults. *Psychogeriatrics* : the

- official journal of the Japanese Psychogeriatric Society.23(3):475-486,Mar 26 2023.
2. Ono R, Sakurai T, Sugimoto T, Uchida K, Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Arai H, Saito T. Mortality Risks and Causes of Death by Dementia Types in a Japanese Cohort with Dementia: NCGG-Stories. *Journal of Alzheimer's Disease*.92(2):487-498.Mar 2023.
  3. Ishioka YL, Masui Y, Nakagawa T, Ogawa M, Inagaki H, Yasumoto S, Ikebe K, Kamide K, Arai Y, Ishizaki T, Gondo Y. Early- to late-life environmental factors and late-life global cognition in septuagenarian and octogenarians: The SONIC study. *Acta Psychologica*.233 103844-103844.Mar 2023.
  4. Okahashi S, Sakamoto K, Hashiya F, Kumasaka K, Yamaguchi T, Seiyama A, Utsumi J. Development of an Electric Pegboard (e-Peg) for Hand Dexterity Improvement and Cognitive Rehabilitation: A Preliminary Study. *Advanced Biomedical Engineering*.12:81-90. Mar 2023.
  5. RM Shrestha, Inoue Y, Yamamoto S, Fukunaga A, Sampei M, Okubo R, Morisaki N, Ohmagari N, Funaki T, Ishizuka K, Yamaguchi K, Sasaki Y, Takeda K, Miyama T, Kojima M, Nakagawa T, Nishimura K, Ogata S, Umezawa J, Tanaka S, Inoue M, Konishi M, Miyo K, Mizoue T. The association between experience of COVID-19-related discrimination and psychological distress among healthcare workers for six national medical research centers in Japan. *Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology*.58(9):1421-1429.Mar 17 2023.
  6. 宇田和晃, 田宮菜奈子, 木原朋未, 杉山雄大, 山岸良匡, 金雪瑩, 石丸美穂. COVID-19 パンデミックと新規要介護・要支援認定発生率との関連 全国匿名要介護認定情報等を用いた分析. *Journal of Epidemiology*.33(Suppl 1)105. 2023年2月.
  7. Shimoda M, Kaneko K, Nakagawa T, Kawano N, Otsuka R, Ota A, Naito H, Matsunaga M, Ichino N, Yamada H, Chiang C, Hirakawa Y, Tamakoshi K, Aoyama A, Yatsuya H. Relationship between fasting blood glucose levels in middle age and cognitive function in later life: The Aichi Workers' Cohort Study. *Journal of Epidemiology*.5;33(2):76-81 Feb 2023.
  8. Jin X, Uda K, Ishimaru M, Kihara T, Sugiyama T, Yamagishi K, Iso H, Tamiya N. The Effect of Business Operating Systems on Nursing Home Termination. *International Journal of Public Health*.68:1605439. Feb 1 2023.
  9. Nishikimi A, Nakagawa T, Fujiwara M, Watanabe K, Watanabe A, Komatsu A, Yasuoka M, Watanabe R, Naya M, Oshima H, Kitagawa Y, Tokuda H, Kondo I, Niida S, Sakurai T, Kojima M, Arai H. Humoral and cellular responses to the third COVID-19 BNT162b2 vaccine dose in research institute workers in Japan. *Journal of Infection*.86(2):e33-e35. Feb 2023.

10. Liu Chang, 渡邊勇輝, 山本豪志朗, 岡橋さやか. 遂行機能・注意リハビリテーションを目的とする没入型バーチャルリアリティ認知課題に関する検討. ヒューマンインタフェース学会論文誌. 25(1) 29-34. 2023年2月.
11. Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Living Alone and Depressive Symptoms Among Older Adults in the COVID-19 Pandemic: Role of Non-Face-to-Face Social Interactions. *Journal of the American Medical Directors Association*. 24(1) 17-21. Jan 24 2023.
12. Akema S, Mameno T, Nakagawa T, Inagaki H, Fukutake M, Hatta K, Murotani Y, Tsujioka Y, Hagino H, Higashi K, Takahashi T, Wada M, Maeda Y, Gondo Y, Kamide K, Kabayama M, Ishizaki T, Masui Y, Ogata S, Ikebe K. Relationship between occlusal force and psychological frailty in Japanese community - dwelling older adults: The Septuagenarians, Octogenarians, Nonagenarians Investigation with Cen+tenarians study. *Journal of the American Geriatrics Society*, 71(6):1819-1828. Jan 23 2023.
13. Seiyama A, Miura T, Sasaki Y, Okahashi S, Konishi N, Monte C. Characterization of forehead blood flow bias on NIRS signals during neural activation with a verbal fluency task. *Neuroscience Research*. 186:43-50. Jan 2023.
14. Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Ishihara M, Saito T. Aging-in-place preferences and institutionalization among Japanese older adults: a 7-year longitudinal study *BMC Geriatrics* 22(1) Dec 2022.
15. Ito T, Sato M, Takahashi H, Omori C, Taniguchi Y, Jin X, Watanabe T, Noguchi H, Tamiya N. Mortality differences in disabled older adults by place of care in Japan: nationwide 10-year results. *Journal of Public Health Policy*. 43(4):542-559. Dec 2022.
16. Hirokawa K, Kasuga A, Matsumoto K, Omori Y, Masui Y, Nakagawa T, Ogawa M, Ishioka Y, Inagaki H, Ikebe K, Arai Y, Ishizaki T, Kamide K, Gondo Y. Associations between salivary testosterone levels and cognitive function among 70 - year - old Japanese elderly: A cross - sectional analysis of the SONIC study. *Geriatrics & Gerontology International*. 22(12):1040-1046. Dec 2022.
17. Sano K, Miyawaki A, Abe K, Jin X, Watanabe T, Tamiya N, Kobayashi Y. Effects of cost sharing on long-term care service utilization among home-dwelling older adults in Japan. *Health Policy*. 126(12):1310-1316. Dec 2022.
18. 野口泰司. ポストコロナにおける高齢者の健康増進. 愛知県理学療法学会誌. 34 (2) ,2022年12月.
19. 小嶋麻木, 岡橋さやか, 長野明紀. コミュニケーションアプリの開発と重度失語症者 1 症例に対する介入効果の検討. *言語聴覚研究*. 19 (4) 356-364. 2022年12月15日.
20. Saito J, Murayama H, Ueno T, Saito M, Haseda M, Saito T, Kondo K, Kondo N.

21. Functional disability trajectories at the end of life among Japanese older adults: Findings from the JAGES. *Age & Ageing*. Volume 51, Issue 11. 20 November 2022.
22. Noguchi T, Sato M, Saito T. An approach to psychosocial health among middle-aged and older people by remote sharing of photos and videos from family members not living together: A feasibility study. *Frontiers in Public Health*. 10 962977. Nov 10 2022.
23. Hirokawa K, Kasuga A, Matsumoto K, Omori Y, Masui Y, Nakagawa T, Ogawa M, Ishioka Y, Inagaki H, Ikebe K, Arai Y, Ishizaki T, Kamide K, Gondo Y : Associations between salivary testosterone levels and cognitive function among 70 - year - old Japanese elderly: A cross - sectional analysis of the SONIC study. *Geriatrics & Gerontology International*. Volume 22, Issue 12 p.1040-1046, Nov 9 2022.
24. Saito J, Murayama H, Ueno T, Saito M, Haseda M, Saito T, Kondo K, Kondo N. Functional disability trajectories at the end of life among Japanese older adults: Findings from the JAGES. *Age and ageing*. 51(11), Nov 2 2022.
25. Khairan P, Shirai K, Shobugawa Y, Cadar D, Saito T, Kondo K, Sobue T, Iso H. Pneumonia and subsequent risk of dementia: Evidence from the Japan Gerontological Evaluation Study. *International Journal of Geriatric Psychiatry*. 37(11). 1 Nov 2022.
26. 大塚日花里, 岡橋さやか, 精山明敏. 地震映像視聴時の携帯型 NIRS を用いた情動研究. *ヒューマンインタフェース学会論文誌*. 24(4) 239-248, 2022 年 11 月.
27. Ito T, Sato M, Takahashi H, Omori C, Taniguchi Y, Jin X, Watanabe T, Noguchi H, Tamiya N. Mortality differences in disabled older adults by place of care in Japan: nationwide 10-year results. *Journal of Public Health Policy*. 43 (4) : 542-559, Oct 28 2022.
28. Komatsu A, Nakagawa T, Noguchi T, Saito T. Factors associated with decision - making involvement in community - dwelling older care recipients. 22 (10) : 876-882. Oct 2022.
29. Nishikimi A, Nakagawa T, Fujiwara M, Watanabe K, Watanabe A, Komatsu A, Yasuoka M, Watanabe R, Naya M, Oshima H, Kitagawa Y, Tokuda H, Kondo I, Niida S, Sakurai T, Kojima M, Arai H. Humoral and cellular responses to the third COVID-19 BNT162b2 vaccine dose in research institute workers in Japan. *Journal of Infection*. 86 (2) : e33-e35, Oct 2022.
30. 福定正城, 斉藤雅茂, 近藤克則, 斎藤民. 対面・非対面交流のタイプ別にみた高齢者の主観的健康 : JAGES2019 横断研究. *厚生の指標*. 69(12)1-9, 2022 年 10 月 1 日.
31. 岡田進一, 杉山京, 小松亜弥音. 在宅認知症高齢者に対するケアマネジメントの有効

性：システマティックレビューとメタ分析. 日本在宅ケア学会誌.26(1) 32-47,2022 年 9 月 30 日.

32. Jin X, Iwagami M, Sakata N, Mori T, Uda K, Tamiya N. Regional variation in long-term care spending in Japan. *BMC Public Health*.22(1),Sep 23 2022.
33. Nakamoto I, Murayama H, Takase M, Muto Y, Saito T, Tabuchi T. Association between increased caregiver burden and severe psychological distress for informal caregivers during the COVID-19 pandemic in Japan: A cross-sectional study. *Archives of Gerontology and Geriatrics*.102 104756-104756,Sep 2022.
34. Seiyama A, Miura T, Sasaki Y, Okahashi S, Konishi N, Cassim M. Characterization of forehead blood flow bias on NIRS signals during neural activation with a verbal fluency task. *Neuroscience Research* 186 43-50 Sep 2022.
35. Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Saito T.The role of social resources and trajectories of functional health following stroke.*Social Science & Medicine*.115322,Aug 30 2022.
36. Noguchi T, Suzuki S, Nishiyama T, Otani T, Nakagawa-Senda H, Watanabe M, Hosono A, Tamai Y, Yamada T.Association between work-related factors and happiness among working older adults: A cross-sectional study.*Annals of Geriatric Medicine and Research*.26(3) 256-263,Aug 24 2022.
37. Ishizaki T, Masui Y, Nakagawa T, Yoshida Y, Ishioka LY, Hori N, Inagaki H, Ito K, Ogawa M, Kabayama M, Kamide K, Ikebe K, Arai Y, Gondo Y. Construct Validity of a New Health Assessment Questionnaire for the National Screening Program of Older Adults in Japan: The SONIC Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*.19(16) 10330,Aug 19 2022.
38. 佐藤幹也, 伊藤智子, 谷口雄大, 大森千尋, 金雪瑩, 渡邊多永子, 高橋秀人, 野口晴子, 田宮菜奈子. 介護保険受給者台帳の資格喪失記録を死亡代理変数として使用することの妥当性の検討.日本公衆衛生雑誌.69(8)617-624,2022 年 8 月 15 日.
39. Noguchi T, Shang E, Nakagawa T, Komatsu A, Murata C, Saito T.Establishment Of the Japanese version of the dementia stigma assessment scale. *Geriatrics & Gerontology International*.22(9)790-796,Aug 4 2022.
40. Kasuga A, Yasumoto S, Nakagawa T, Ishioka Y, Kikuchi A, Inagaki H, Ogawa M, Hori N, Masui Y, Choe H, Muto H, Kabayama M, Godai K, Ikebe K, Kamide K, Ishizaki T, Gondo Y. Older Adults' Resilience Against Impact of Lifestyle Changes During the COVID-19 Pandemic.*Gerontology and Geriatric Medicine*.8:233372142211162,Aug 02 2022.
41. Nishikimi A, Watanabe K, Watanabe A, Yasuoka M, Watanabe R, Fujiwara M,

- Oshima H, Nakagawa T, Kitagawa Y, Tokuda H, Washimi Y, Niida S, Kojima M. Immune responses to COVID-19 vaccine BNT162b2 in workers at a research institute in Japan:6-month follow-up survey. *Journal of Infection*. 85(2):174-211, Aug 2022.
43. Inokuchi R, Jin X, Iwagami M, Sun Y, Sakamoto A, Ishikawa M, Tamiya N. Comparison of the Characteristics and Outcomes of COVID-19 Patients Treated by a Hospital-at-Home Service in Japan during the Alpha and Delta Waves . *Journal of Clinical Medicine*.11(11) 3185-3185, Jun 2 2022.
  44. Fuji Y, Sakaniwa R, Shirai K, Saito T, Ukawa S, Iso H, Kondo K. The number of leisure-time activities and risk of functional disability among Japanese older population: the JAGES cohort. *Preventive Medicine Reports*.26 101741, Apr 2022.
  45. Komiyama J, Iwagami M, Mori T, Kuroda N, Jin X, Ito T, Tamiya N. Factors Associated with Outpatient Cardiac Rehabilitation Participation in Older Patients: A Population-Based Study Using Claims Data from Two Cities in Japan. *Annals of Clinical Epidemiology*. 4(1) 11-19, Apr 2022.
  46. Fuji Y, Sakaniwa R, Shirai K, Saito T, Ukawa S, Iso H, Kondo K. The number of leisure-time activities and risk of functional disability among Japanese older population: the JAGES cohort. *Preventive medicine reports* 26 101741-101741 Apr 2022.
  47. 林浩之, 窪優太, 林尊弘, 越智亮, 野口泰司, 富山直輝. 地域在住の高齢男性および女性の要介護認定発生リスクを高める健康関連状態. *作業療法 (Japanese Occupational Therapy Research)* .41(2)206-213, 2022 年 4 月 15 日.

#### 2021 年度

1. Tomida M, Nishita Y, Tange C, Nakagawa T, Otsuka R, Ando F, Shimokata H. Typology of Work–Family Balance Among Middle–Aged and Older Japanese Adults. *Frontiers in Psychology*, (13) 751879, March 16 2022.
2. Noguchi T, Ishihara M, Murata C, Nakagawa T, Komatsu A, Kondo K, Saito T. Art and cultural activity engagement and depressive symptom onset among older adults: A longitudinal study from the Japanese Gerontological Evaluation Study. *International Journal of Geriatric Psychiatry*.37(3) Mar 2022.
3. Nakagawa T, Nishita Y, Tange C, Tomida M, Otsuka R, Ando F, Shimokata H. Does positive affect predict mortality and morbidity? A 19-year longitudinal study of middle-aged and older Japanese adults . *Journal of Research in Personality*,104204, Feb 2022.
4. Wei-Ling C, Nishita Y, Akinori Nakamura A, Kato T, Nakagawa T, Shu Z,

- Shimokata H, Otsuka R, Kuan-Pin S, Arai H. Hemoglobin Concentration is Associated with the Hippocampal Volume in Community-Dwelling Adults Archives of Gerontology and Geriatrics,104668, Feb 2022.
5. Noguchi T, Kondo F, Nishiyama T, Otani T, Nakagawa-Senda H, Watanabe M, Imaeda N, Goto C, Hosono A, Shibata K, Kamishima H, Nogimura A, Nagaya K, Yamada T, Suzuki S. The Impact of Marital Transitions on Vegetable Intake in Middle-aged and Older Japanese Adults: A 5-year Longitudinal Study. Journal of Epidemiology, 32(2) 89-95, Feb 5 2022.
  6. Noguchi T, Murata C, Hayashi T, Watanabe R, Saito M, Kojima M, Kondo K, Saito T. Association between community-level social capital and frailty onset among older adults: a multilevel longitudinal study from the Japan Gerontological Evaluation Study. Journal of Epidemiology and Community Health.76(2) : 182-189. Feb 2022.
  7. Noguchi T, Nakagawa T, Komatsu A, Ishihara M, Shindo Y, Otani T, Saito T. Social functions and adverse outcome onset in older adults with mild long-term care needs: A two-year longitudinal study . Archives of Gerontology and Geriatrics , 104631, Jan 22 2022.
  8. Iguchi S, Inoue - Hirakawa T, Nojima I, Noguchi T, Sugiura H. Relationships between stress urinary incontinence and trunk muscle mass or spinal alignment in older women. LUTS: Lower Urinary Tract Symptoms.14(1):10-16. Jan 2022.
  9. Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Ishihara M, Saito T. Aging-in-place preferences and institutionalization among Japanese older adults: a 7-year longitudinal study. BMC Geriatrics,22 (66) Jan 21 2022.
  10. 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井手一茂, 齋藤民, 近藤克則, 尾島俊之. 高齢者・認知症にやさしいまち指標と健康・幸福の関連 JAGES 横断研究. Journal of Epidemiology 32(Suppl.1) 149-149 2022年1月.
  11. 小嶋雅代, 渡邊良太, 安岡実佳子, 竹内研時, 齋藤民, 寺部健哉, 小嶋俊久, 尾島俊之, 武藤 剛, 大関沙依, 近藤克則. 自立高齢者における関節リウマチの診断とフレイル、社会的背景に関する検討 JAGES 横断研究. Journal of Epidemiology 32(Suppl.1) 152 2022年1月.
  12. 齋藤民, 杉本大貴, 小野玲, 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 内田一彰, 黒田佑次郎, 荒井秀典, 櫻井孝. 家族の介護負担感と認知症者の死亡リスク もの忘れ外来患者コホート(NCGG-STORIES). Journal of Epidemiology 32(Suppl.1)146. 2022年1月.
  13. Saito T, Nishita Y, Tange C, Nakagawa T, Tomida M, Otsuka R, Ando F, Shimokata H, Arai H. Association between intra-individual changes in social network diversity and global cognition in older adults: Does closeness to network members make a difference? Journal of Psychosomatic Research.110658. Oct 2021.

14. Noguchi T, Murata C, Hayashi T, Watanabe R, Saito M, Kojima M, Kondo K, Saito S. Association between community-level social capital and frailty onset among older adults: a multilevel longitudinal study from the Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES). *Journal of Epidemiology and Community Health*. 76(2) jech-2021 .Aug 2 2021.
15. Nakagawa T, Cho J, Yeung Y D. Successful aging in East Asia: Comparison among China, Korea, and Japan. *The Journals of Gerontology: Series B*, 76 : S17-S26,June 8 2021.
16. Nakagawa T, Hülür G. Life Satisfaction during the Transition to Widowhood among Japanese Older Adults. *Gerontology*,67 : 338-349,May 4 2021.
17. Ikeda T, Cable N, Saito M, Koyama S, Tsuji T, Noguchi T, Kondo K, Osaka K, Aida J. Association Between Social Isolation and Smoking in Japan and England. *Journal of Epidemiology*, 31(10) : 523-529,Oct 5 2021.
18. Hayashi T, Noguchi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Social frailty and Depressive Symptoms during the COVID-19 Pandemic among Older Adults in Japan: Role of Home Exercise Habits . *Archives of Gerontology and Geriatrics* , Jan-Feb:98 : 10455.Feb 2022.
19. Kubo Y, Noguchi T, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Changes in psychosocial factors among community - dwelling older adults before and after Japan's declaration of a state of emergency over coronavirus disease 2019. *Psychogeriatrics*, 22(1) : 3-10 Jan 2022.
20. Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Association between decreased social participation and depressive symptom onset among community-dwelling older adults: a longitudinal study during the COVID-19 pandemic. *The Journal of Nutrition, Health and Aging*.25(9):1070, Sep 15 2021
21. Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Association between Family Caregivers and Depressive Symptoms among Community-Dwelling Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study during the COVID-19 Pandemic. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. (96):104468,June 23 2021.
22. Ishihara M, Saito T, Sakurai T, Arai H. Sustained mood improvement by the positive photo appreciation program in older adults. *International Journal of Geriatric Psychiatry* 36(6) 970-971 Jun 2021.
23. Nakagawa T, Cho J, Dannii Y Y. Successful Aging in East Asia: Comparison Among China, Korea, and Japan*The Journals of Gerontology: Series B* 76(Supplement1)
24. S17-S26 Jun 8 2021.
25. Shimoda M, Kaneko K, Nakagawa T, Kawano N, Otsuka R, Ota A, Naito H,



- Matsunaga M, Ichino N, Yamada H, Chifa C, Hirakawa Y, Tamakoshi K, Aoyama A, Yatsuya H. Relationship between fasting blood glucose levels in middle age and cognitive function in later life: The Aichi Workers' Cohort Study. *Journal of Epidemiology* 33(2) 76-81 May 22 2021.
26. Noguchi T, Kubo Y, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Social isolation and self-reported cognitive decline among older adults in Japan: A longitudinal study in the COVID-19 pandemic. *Journal of the American Medical Directors Association*. 22(7):1352-1356.e2, May 21 2021.
27. Koyama S, Saito M, Cable N, Ikeda T, Tsuji T, Noguchi T, Abbas H, Miyashiro I, Osaka K, Kondo K, Watt RG, Aida J. Examining the associations between oral health and social isolation: A cross-national comparative study between Japan and England. *Social Science & Medicine*, Vol. 277 113895, May 2021.
28. 崔煌, 権藤恭之, 増井幸恵, 中川威, 安元佐織, 小野口航, 池邊一典, 神出計, 樺山舞, 石崎達郎. 高齢者における社会参加, ソーシャル・キャピタル, 主観的健康感の関連. *老年社会科学*, 43(1)5-14, 2021年4月20日.
29. Noguchi T, Nojima I, Inoue-Hirakawa T, Sugiura H. Role of non-face-to-face social contacts in moderating the association between living alone and mental health among community-dwelling older adults: a cross-sectional study. *Public Health*, 194:25-28, April 10 2021.
30. Noguchi T, Nojima I, Inoue-Hirakawa T, Sugiura H. Association between Social Frailty and Sleep Quality among Community-Dwelling Older Adults: A Cross-Sectional Study. *Physical Therapy Research* 24(2) 153-162, April 1 2021.

## 2. 学会発表

### 2023年度

1. 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 金雪榮, 岡橋さやか, 斎藤民. 高齢者の QOL の本人報告と観察者報告の一致: 要介護者と家族を対象にした予備調査. 日本発達心理学会第 35 回大会 2024 年 3 月 8 日.(大阪府大阪市)
2. 伊藤大幸, 中川威, 片桐正敏, 前川圭一郎, 砂川芽吹, 山田美穂, 大谷多加志, 田中善大, 原田新, 村山恭朗. 実践論文がつなぐ研究と実践. 日本発達心理学会第 35 回大会. 2024 年 3 月 7 日.(大阪府大阪市)
3. 白石奈津栄, 山本康裕, 中川威, 堀内孝. 加齢に係る変化意識 (AARC) と老いの最適化としての生涯学習. 日本発達心理学会第 35 回大会. 2024 年 3 月 7 日.(大阪府大阪市)
4. 倉坪和泉, 中川威. 軽度認知障害を有する高齢者の抑うつに対するマインドフルネスの効果の検討. 日本老年臨床心理学会第 6 回大会. 2024 年 3 月 3 日.(愛知県名古屋市)

5. 志村ゆず,倉坪和泉,下垣光,Yuriko Riesen,林智一,中川威.支援者と高齢者との関係性日本老年臨床心理学会第6回大会.2024年3月2日.(愛知県名古屋市)
6. 河口謙二郎, 金雪瑩, 野口泰司, 斎藤民, 近藤克則. 要介護高齢者の住宅環境と精神的健康及び QOL: JAGES 在宅ケアとくらしの調査 2022 横断研究. 第34回日本疫学会学術総会 2024年1月31日.(滋賀県大津市)
7. 斎藤民, 野口泰司, 金雪瑩, 河口謙二郎, 近藤克則. 家族介護者の続柄別にみた在宅介護継続意向と介護不安:JAGES 在宅介護実態調査 2022.第34回日本疫学会学術総会 2024年1月31日.(滋賀県大津市)
8. Bone J, Noguchi T, Fancourt D, Saito T. Arts and cultural group participation and subsequent wellbeing: A longitudinal analysis of older adults in Japan and England using doubly robust estimators .
9. UK Public Health Science 2023. Nov 24 2023 (London, United Kingdom)
10. Fancourt D, Noguchi T, Bone J, Wels J, Gao Q, Kondo K, Saito T, Mak HW.The moderating effect of country-level health determinants on the relationship between hobby engagement and mental health: longitudinal models, multi-level models, meta-analyses and meta-regressions involving 93,263 older adults in 16 countries. UK Public Health Science 2023. Nov 24 2023 (London, United Kingdom)
11. Nakagawa T,G Hueluer,A B.Horn. Do Positive Affect and Loneliness Predict Longevity Across Cultures? Findings From the United States and Japan. The Gerontological Society of America 2023 Annual Scientific Meeting.Nov 11 2023 (Florida,America)
12. 石田敦子, 岡橋さやか, 植田郁恵, 李相倫, 斎藤民. 認知症患者へのタブレット型認知機能検査 NCGG-FAT の適用可能性の予備的検討. 第57回日本作業療法学会.2023年11月10日. (沖縄県宜野湾市)
13. 涌井智子, 藤原聡子, 中川威, 森山葉子, 甲斐一郎. 家族介護者のための活動量計を用いたテラーメイド支援プログラムの 社会実装に資する考察. 第18回日本応用老年学会大会.2023年10月29日. (大阪府豊中市)
14. 安元佐織, 中川威, 川崎悠丘, 増井幸恵, 権藤恭之. 100歳まで生きたいか、生きたくないか. 第18回日本応用老年学会大会.2023年10月29日. (大阪府豊中市)
15. 増井幸恵, 中川威, 権藤恭之, 安元佐織, 小川まどか, 松本清明, 石岡良子, 春日彩花, 堀紀子, 稲垣宏樹, 吉田祐子, 井藤佳恵, 高山緑, 新井康通, 池邊一典, 神出計, 石崎達郎. 老年的超越の縦断変化パターンの分類と関連要因の検討:SONIC70 歳群データを用いて. 第18回日本応用老年学会大会.2023年10月28日. (大阪府豊中市)
16. 岡橋さやか, 進藤由美, 斎藤民. 地域における要介護高齢者と家族へのペア参加型支援に関する調査. 第17回日本作業療法研究学会学術大会.2023年10月21日 (愛知県名古屋市)

17. Otsuka H,Okahashi S,Seiyama A. Neural function desynchronization in left and right dorsolateral prefrontal cortices during virtual-reality earthquake video viewing. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 in Tokyo. Oct 1 2023. (Chofu,Japan)
18. Seiyama A,Konishi N,Miura T,Okahashi S,Monte C.Development of a remote monitoring system of health condition for frail people. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 in Tokyo. Sep 30 2023. (Chofu,Japan)
19. 中川威, 安元佐織, 小松亜弥音, 野口泰司, 金雪瑩, 岡橋さやか, 斎藤民. 家族介護における加齢に対するステレオタイプから健康への二者間の影響. 日本心理学会第 87 回大会.2023 年 9 月 16 日 (兵庫県神戸市)
20. 進藤由美, 斎藤民, 野口泰司, 鷺見幸彦. 市町村職員における認知症予防に資する取組・事業の把握状況～人口規模や事業担当部署、連携状況が及ぼす影響～. 第 12 回認知症予防学会学術集会.2023 年 9 月 15 日 (新潟県新潟市)
21. Uchida K,Sugimoto T,Saito T,Nakagawa T,Noguchi T,Komatsu A,Kuroda Y,Ono R, Arai H,Sakurai T. Relationship between regional body composition and mortality in patients with mild cognitive impairment/Alzheimer's disease: NCGG-STORIES. 19th Congress of the European Geriatric Medicine Society (EuGMS).Sep 20 2023. (Helsinki,Finland)
22. 窪優太, 則竹賢人, 野口泰司, 林尊弘. 高齢大腿骨近位部骨折入院患者における栄養評価としての Phase angle の有用性の検討.第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会.2023 年 6 月 30 日 (福岡県福岡市)
23. 中川威, 小林江里香. 人生満足感の軌跡の世代差.日本老年社会科学会第 65 回大会.2023 年 6 月 17 日 (神奈川県横浜市)
24. 小松亜弥音, 斎藤民, 平川仁尚, 高梨早苗, 尾之内直美, 水島俊彦, 島田千穂, 石山麗子, 会田薫子, 三浦久幸 . 療養場所別の認知症者に対する意思決定支援の実施状況. 日本老年社会科学会第 65 回大会.2023 年 6 月 17 日 (神奈川県横浜市)
25. 野口泰司, 中川威, 小松亜弥音, 尚爾華, 村田千代栄, 斎藤民. 認知症スティグマ評価尺度の短縮版の作成. 日本老年社会科学会第 65 回大会.2023 年 6 月 17 日 (神奈川県横浜市)
26. 内田一彰, 杉本大貴, 斎藤民, 中川威, 野口泰司,小松亜弥音, 黒田佑次郎, 小野玲, 荒井秀典, 櫻井孝. MCI および AD 患者における体組成と生命予後の関連 : NCGG-STORIES. 第 65 回日本老年医学会学術集会.2023 年 6 月 16-18 日 (神奈川県横浜市)
27. 小松亜弥音, 斎藤民, 平川仁尚, 高梨早苗, 尾之内直美, 水島俊彦, 島田千穂, 石山麗子, 田薫子, 三浦久幸.療養場所別の認知症者に対する意思決定支援の実施状況. 第 33 回老年学会総会.2023 年 6 月 16 日 (神奈川県横浜市)
28. Nakagawa T. Psychological adaptation to life adversities. International Association

- of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. .June 14 2023. (Yokohama,Japan)
29. Noguchi T, Erhua S. Art engagement and positive psychological well-being among community-dwelling older adults in Japan: A cross-sectional study. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 14 2023. (Yokohama,Japan)
  30. Erhua S, Noguchi T. Association between beauty consciousness and subjective well-being among older females: A cross-sectional study. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 14 2023. (Yokohama,Japan)
  31. Okahashi S, Shindo Y, Ishida A, Komatsu A, Noguchi T, Jin X, Nakagawa T, Saito T. Implementation of dyadic community-based non-pharmacological interventions for family caregiver-older care recipient: A questionnaire survey. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. .June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  32. Komatsu A, Noguchi T, Nakagawa T, Jin X, Okahashi S, Saito T, Miura H. Narrative literature review of intervention studies on support for decision-making in people with dementia. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. .June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  33. Komatsu A. Potentially Effective Interventions Against Gender Inequality (Symposium: Gender disparities in long-term care and its modifiable factors. ) International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. .June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  34. Saito T. Gender disparities in long-term care and its modifiable factors. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  35. Noguchi T. Gender differences in burden and service use among informal caregiver in long-term care. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  36. Okahashi S, Shindo Y, Ishida A, Komatsu A, Noguchi T, Jin X, Nakagawa T, Saito T. Implementation of Dyadic Community-based Non-pharmacological Interventions for Family Caregivers and Older Care Recipients: A Questionnaire Survey. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama,Japan)
  37. Jin X. Gender differences in long-term care expenditure and utilization. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)

- Asia/Oceania Regional Congress 2023.June 13 2023. (Yokohama,Japan)
38. Saito T, Suzuki T, Kondo K, Tsushita K. Combined association of health checkups and frailty with adverse health outcomes in community-dwelling old-old adults: A 9-year follow-up study. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023.June 12 2023. (Yokohama,Japan)
  39. Fujihara S, Noguchi T, Jeong S, Ide K, Wakui T, Kondo K, Ojima T. Development of an instrument for age- and dementia-friendly cities: The Japan Gerontological Evaluation Study.
  40. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023.June 12 2023. (Yokohama,Japan)
  41. Jin X, Komatsu A, Noguchi T, Nakagawa T, Okahashi S, Saito T. Nursing home characteristics associated with caregiver turnover in Japan. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023.June 12 2023. (Yokohama,Japan)
  42. Saito T, Suzuki T, Kondo K, Tsushita K. Combined association of health checkups and frailty with adverse health outcomes in community-dwelling old-old adults: A 9-year follow-up study.
  43. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023.June 12 2023. (Yokohama,Japan)
  44. 齋藤民, 野口泰司, 中川威, 小松亜弥音, 村田千代栄. 一般成人における認知症者の社会参加に対する支援意識とその関連要因. 第 81 回日本公衆衛生学会総会.
  45. 2022 年 10 月 7-9 日 (山梨県甲府市)
  46. 齋藤民, 野口泰司, 小松亜弥音, 中川威, 村山洋史. 自主企画フォーラム: 社会老年学の視座から認知症者・要介護者の重度化予防・ウェルビーイング向上を考える. 日本老年社会学会第 64 回大会, 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
  47. 齋藤民, 杉本大貴, 小野玲, 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 内田一彰, 黒田佑次郎, 荒井秀典, 櫻井孝. 家族の介護負担感と認知症者の死亡リスク: もの忘れ外来患者コホート (NCGG-STORIES). 第 32 回日本疫学会学術総会, 2022 年 1 月 26-28 日 (Online)
  48. 小嶋雅代, 渡邊良太, 安岡実佳子, 竹内研時, 齋藤民, 寺部健哉, 小嶋俊久, 尾島俊之, 近藤克則. 地域在住高齢者における関節リウマチの診断とフレイル, 社会的背景に関する検討: JAGES 横断研究. 第 32 回日本疫学会学術総会, 2022 年 1 月 26-28 日 (Online)
  49. 増井幸恵, 中川威, 権藤恭之, 安元佐織, 小川まどか, 松本清明, 石岡良子, 春日彩花, 堀紀子, 稲垣宏樹, 吉田祐子, 井藤佳恵, 高山緑, 新井康通, 池邊一典, 神出計, 石崎達郎. 老年的超越の縦断変化パターンの分類と関連要因の検討: SONIC70 歳群データを用いて. 第 18 回日本応用老年学会大会. 2023 年 10 月 28 日 (大阪府豊中市)
  50. Otsuka H, Okahashi S, Seiyama A. Neural function desynchronization in left and

right dorsolateral prefrontal cortices during virtual-reality earthquake video viewing. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 in Tokyo. Oct 1 2023 (Chofu, Japan)

51. Seiyama A, Konishi N, Miura T, Okahashi S, Monte C. Development of a remote monitoring system of health condition for frail people. International Society on Oxygen Transport to Tissue (ISOTT) 2023 in Tokyo. Sep 30 2023. (Chofu, Japan)
52. 中川威, 安元佐織, 小松亜弥音, 野口泰司, 金雪瑩, 岡橋さやか, 齋藤民. 家族介護における加齢に対するステレオタイプから健康への二者間の影響. 日本心理学会第 87 回大会. 2023 年 9 月 16 日. (兵庫県神戸市)
53. 進藤由美, 齋藤民, 野口泰司, 鷺見幸彦. 市町村職員における認知症予防に資する取組・事業の把握状況～人口規模や事業担当部署、連携状況が及ぼす影響～第 12 回認知症予防学会学術集会. 2023 年 9 月 15 日. (新潟県新潟市)
54. 岡橋さやか, 石田敦子, 植田郁恵, 李相侖, 中川威, 大沢愛子, 齋藤民. 認知症高齢者のユーザビリティを考慮したタブレット型認知機能検査の改良. ヒューマンインタフェースシンポジウム 2023. 2023 年 9 月 6 日. (神奈川県相模原市)
55. 窪優太, 則竹賢人, 野口泰司, 林尊弘. 高齢大腿骨近位部骨折入院患者における栄養評価としての Phase angle の有用性の検討. 第 60 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2023 年 6 月 30 日. (福岡県福岡市)
56. 内田一彰, 杉本大貴, 齋藤民, 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 黒田佑次郎, 小野玲, 荒井秀典, 櫻井孝. MCI および AD 患者における体組成と生命予後の関連: NCGG-STORIES. 第 65 回日本老年医学会学術集会. 2023 年 6 月 16-18 日. (神奈川県横浜市)
57. 中川威, 小林江里香. 人生満足感の軌跡の世代差. 第 65 回日本老年社会学会大会. 2023 年 6 月 17 日 (神奈川県横浜市)
58. 小松亜弥音, 齋藤民, 平川仁尚, 高梨早苗, 尾之内直美, 水島俊彦, 島田千穂, 石山麗子, 会田薫子, 三浦久幸. 療養場所別の認知症者に対する意思決定支援の実施状況. 第 65 回日本老年社会学会大会. 2023 年 6 月 17 日. (神奈川県横浜市)
59. 野口泰司, 中川威, 小松亜弥音, 尚爾華, 村田千代栄, 齋藤民. 認知症スティグマ評価尺度の短縮版の作成. 第 65 回日本老年社会学会大会. 2023 年 6 月 17 日. (神奈川県横浜市)
60. 小松亜弥音, 齋藤民, 平川仁尚, 高梨早苗, 尾之内直美, 水島俊彦, 島田千穂, 石山麗子, 会田薫子, 三浦久幸. 療養場所別の認知症者に対する意思決定支援の実施状況. 第 33 回老年学会総会. 2023 年 6 月 16 日. (神奈川県横浜市)
61. Okahashi S, Shindo Y, Ishida A, Komatsu A, Noguchi T, Jin X, Nakagawa T, Saito T. Implementation of dyadic community-based non-pharmacological interventions for family caregiver-older care recipient: A questionnaire survey. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023 (Yokohama, Japan)

62. Nakagawa T. Psychological adaptation to life adversities International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 14 2023. (Yokohama, Japan)
63. Noguchi T., Erhua S. Art engagement and positive psychological well-being among community-dwelling older adults in Japan: A cross-sectional study.
64. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 14 2023. (Yokohama, Japan)
65. Erhua S, Noguchi T. Association between beauty consciousness and subjective well-being among older females: A cross-sectional study.
66. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 14 2023. (Yokohama, Japan)
67. Komatsu A., Noguchi T., Nakagawa T., Jin X., Okahashi S., Saito T., Miura H. Narrative literature review of intervention studies on support for decision-making in people with dementia. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama, Japan)
68. Komatsu A. Potentially Effective Interventions Against Gender Inequality (Symposium: Gender disparities in long-term care and its modifiable factors.) International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama, Japan)
69. Noguchi T. Gender differences in burden and service use among informal caregiver in long-term care. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama, Japan)
70. Jin X. Gender differences in long-term care expenditure and utilization.
71. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 13 2023. (Yokohama, Japan)
72. Fujihara S, Noguchi T., Jeong S, Ide K, Wakui T, Kondo K, Ojima T. Development of an instrument for age- and dementia-friendly cities: The Japan Gerontological Evaluation Study. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 12 2023. (Yokohama, Japan)
73. Jin X., Komatsu A., Noguchi T., Nakagawa T., Okahashi S., Saito T. Nursing home characteristics associated with caregiver turnover in Japan. International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress 2023. June 12 2023. (Yokohama, Japan)

2022 年度

74. 金雪瑩. 介護サービスの利用および介護費における性差. 日本社会関係学会, 第 3 回研究

- 大会.2023年3月19日(千葉県千葉市)
75. 野口泰司.家族介護者における介護負担とサービス利用の性差.日本社会関係学会,第3回研究大会.2023年3月19日(千葉県千葉市)
  76. 小松亜弥音.既存政策・プログラムが性差軽減に資する可能性の検討.日本社会関係学会,第3回研究大会.2023年3月19日(千葉県千葉市)
  77. 金雪瑩, 野口泰司, 小松亜弥音, 金森万里子, 斎藤民.介護における性差の研究動向と課題:サービス利用および介護資金に着目して.日本社会関係学会第3回研究大会.2023年3月19日(千葉県千葉市)
  78. Seiyama A, Miura T, Okahashi S, Konishi N, Monte C. Studies on early detection of sleep-onset signal during driving. 日本生理学会第100回記念大会.2023年3月14-16日.(京都府京都市)
  79. 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 金雪瑩, 岡橋さやか, 斎藤民.新型コロナウイルス感染症流行に伴う生活満足感の変化.日本発達心理学会第34回大会.2023年3月3日(大阪府茨木市)
  80. 渡邊良太, 斎藤雅茂, 上野貴之, 井手一茂, 辻大士, 斎藤民, 近藤克則.死亡前3年間の介護サービス給付費のトラジェクトリ:9年間の縦断研究.第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日(静岡県浜松市)
  81. 小嶋雅代, 渡邊良太, 安岡実佳子, 竹内研時, 斎藤民, 寺部健哉, 小嶋俊久, 尾島俊之, 近藤克則.地域在住高齢者における関節リウマチの診断とフレイル、社会的背景に関する検討:JAGES横断研究.第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日(静岡県浜松市)
  82. 水田明子, 尾島俊之, 斎藤民, 近藤克則.外出好き/家好きで介護開始後の主観的健康感悪化リスクは異なるか?第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日(静岡県浜松市)
  83. 村田千代栄, 中村廣隆, 野口泰司, 斎藤民.グループプログラムが高齢者に与える効果~混合研究法を用いた検討.第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日(静岡県浜松市)
  84. 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井手一茂, 斎藤民, 近藤克則, 尾島俊之.高齢者にやさしいまちは家族介護負担による抑うつを軽減するか:JAGES.第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日(静岡県浜松市)
  85. 野木村茜, 大谷隆浩, 野口泰司, 中川弘子, 渡邊美貴, 山田珠樹, 鈴木貞夫.多世代同居と主観的健康感の関連.第33回日本疫学会学術総会.2023年2月1日.(静岡県浜松市)
  86. 木下彩栄, 岡橋さやか.認知症患者の見える世界を理解し、生活を支える.第41回日本認知症学会学術集会・第37回日本老年精神医学会合同大会.2022年11月25-27日(東京都千代田区)
  87. 黒田佑次郎, 杉本大貴, 佐藤健一, 中川威, 斎藤民, 野口泰司, 小松亜弥音, 内田一彰,



- 小野玲, 荒井秀典, 櫻井孝. もの忘れ外来受診者における意欲の指標と生命予後との関連: NCGG-STORIES. 第 41 回日本認知症学会・第 37 回日本老年精神医学会合同大会 2022 年 11 月 25-27 日 (東京都千代田区)
88. 野口泰司, 林尊弘, 窪優太, 富山直輝, 越智亮, 林浩之. 新型コロナウイルス感染症流行下における独居高齢者の抑うつリスクに対する非対面交流の緩和影響: 縦断研究. 第 9 回予防理学療法学会学術大会. 2022 年 11 月 19-20 日 (東京都北区)
89. Nakamoto I, Murayama H, Takase M, Muto Y, Saito T, Tabuchi T. Association between increased caregiver burden and mental health during the COVID-19 pandemic in Japan. The Gerontological Society of America(GSA) 2022 Annual Scientific Meeting. Nov 2-6 2022 (Indianapolis,USA)
90. Komatsu A, Nakagawa T, Noguchi T, Saito T. Involvement in Care Decision-Making and Adverse Outcome Onset in Community-Dwelling Care Recipients in Japan. The Gerontological Society of America(GSA) 2022 Annual Scientific Meeting. Nov 2-6 2022(Indianapolis,USA)
91. Noguchi T, Nakagawa T, Komatsu A, Erhua S, Murata C, Saito T. Interactions with People with Dementia, Learning Experiences, and Public Stigma Against Dementia. The Gerontological Society of America(GSA) 2022 Annual Scientific Meeting. Nov 2-6 2022(Indianapolis,USA)
92. Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Okahashi S, Saito T. Changes in Life Satisfaction During the First Year of the COVID-19 Pandemic: A Longitudinal Study of Japanese Adults. The Gerontological Society of America(GSA) 2022 Annual Scientific Meeting. Nov 2-6 2022(Indianapolis,USA)
93. 木下彩栄, 岡橋さやか. 認知症患者の見える世界を理解し, 生活を支える. 第 41 回日本認知症学会学術集会/第 37 回日本老年精神医学会. 2022 年 10 月 26 日. (東京都千代田区)
94. 村田千代栄, 野口泰司, 中村廣隆, 斎藤民. ポジティブ心理学を応用したグループプログラムが高齢者の認知機能に与える効果. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日. (山梨県甲府市)
95. 斎藤民, 野口泰司, 中川威, 小松亜弥音, 村田千代栄. 一般成人における認知症者の社会参加に対する支援意識とその関連要因. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日 (山梨県甲府市)
96. 村田千代栄, 野口泰司, 中村廣隆, 斎藤民. ポジティブ心理学を応用したグループプログラムが高齢者の認知機能に与える効果. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日. (山梨県甲府市)
97. 林尊弘, 野口泰司, 窪優太. COVID-19 流行下における地域在住高齢者の運動機能低下に対する余暇活動の緩和影響. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日. (山梨県甲府市)

98. 野口泰司, 柿崎真沙子, 金雪瑩, 村山洋史, 丹治史也, 田淵貴大, 斎藤民. 家族介護者の介護終了後のメンタルヘルスの経過と近隣との社会関係：中高年者縦断調査. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日. (山梨県甲府市)
99. 金雪瑩, 小松亜弥音, 野口泰司, 中川威, 斎藤民. 特別養護老人ホームにおける介護職の離職に関連する施設特徴. 第 81 回日本公衆衛生学会総会. 2022 年 10 月 7-9 日. (山梨県甲府市)
100. 野口泰司. アフターセッション 「遠隔的な写真・動画共有による別居家族との交流促進の 中高齢者の心理社会的健康影響：a feasibility study」. 第 1 回日本老年療法学会学術集会. 2022 年 10 月 1-2 日. (沖縄県国頭郡恩納村)
101. 野口泰司, 佐藤未知, 斎藤民. 遠隔的な写真・動画共有による別居家族との交流促進の 中高齢者の心理社会的健康影響：a feasibility study. 第 1 回日本老年療法学会学術集会. 2022 年 10 月 1-2 日 (沖縄県国頭郡恩納村)
102. 精山明敏, 三浦辰朗, 岡橋さやか, 小西奈美, モンテ・カセム. NIRS-EEG 同時測定による運転者の眠気検知に関する基礎研究. 第 28 回医用近赤外線分光法研究会・第 26 回酸素ダイナミクス研究会 合同研究会. 2022 年 10 月 1-2 日(ハイブリッド開催)
103. Suzuki K, Liu C, Santos L, Ueshima H, Sugiyama O, Yamamoto G, Okahashi S, Kuroda T. Video-Based Quantitative Evaluation of Upper Limb Movements. ICDVRAT 2022 (International Conf. on Disability, Virtual Reality and Associated Technologies). Sep 7 2022(Online)
104. Santos L, Liu C, Yamamoto G, Kuroda T, Okahashi S : RehaBricks - A Modular Electronic Peg Board for Exercise Adaptability in Upper Limb Rehabilitation. ICDVRAT 2022 (International Conf. on Disability, Virtual Reality and Associated Technologies). Sep 7 2022(Online)
105. 増井幸恵, 中川威, 榎藤恭之, 安元佐織, 小川まどか, 石岡良子, 春日彩花, 堀紀子, 稲垣宏樹, 吉田祐子, 井藤佳恵, 高山緑, 新井康通, 池邊一典, 神出計, 石崎達郎. 地域在住高齢者における老年的超越の 9 年間の縦断変化. 日本心理学会第 86 回大会. 2022 年 9 月 8-11 日 (東京都世田谷区)
106. 中川威, 安元 佐織, 樺山舞, 松田謙一, 榎藤恭之, 神出計, 池邊一典. 高齢者における日々の感情の測定. 日本心理学会第 86 回大会. 2022 年 9 月 8-11 日 (東京都世田谷区)
107. Nakagawa T, Sakurai T, Sugimoto T, Ono R, Noguchi T, Komatsu A, Uchida K, Kuroda Y, Arai H, Saito T. Cognitive changes predict mortality in people with Alzheimer's disease: NCGG-STORIES. Alzheimer's Association International Conference 2022. Jul 31-Aug 4 2022 (Online)
108. 小松亜弥音, 中川威, 野口泰司, 岡橋さやか, 金雪瑩, 斎藤民. 要介護高齢者の介護に関する意思決定への主観的な関与状況の変化. 第 27 回日本在宅ケア学会学術集会. 2022

年 7 月 30-31 日 (ハイブリット開催)

109. 齋藤民, 野口泰司, 小松重弥音, 中川威, 村山洋史. 自主企画フォーラム: 社会老年学の視座から認知症者・要介護者の重度化予防・ウェルビーイング向上を考える. 日本老年社会学会第 64 回大会. 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
110. 野口泰司, 尚爾華, 中川威, 小松重弥音, 村田千代栄, 齋藤民. 認知症スティグマ評価尺度の日本語版の作成. 日本老年社会学会第 64 回大会. 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
111. 中川威, 野口泰司, 小松重弥音, 齋藤民. 心疾患罹患に伴う人生満足度の変化の関連要因. 日本老年社会学会第 64 回大会. 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
112. 小松重弥音, 中川威, 野口泰司, 杉本大貴, 内田一彰, 黒田佑次郎, 小野玲, 荒井秀典, 櫻井孝, 齋藤民. 最期の場所に関する希望の認知症患者と家族間での共有状況: NCGG-STORIES. 日本老年社会学会第 64 回大会. 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
113. 野口泰司. 社会老年学の視座から認知症者・要介護者の重度化予防・ウェルビーイング向上を考える「要介護者の重症化予防・ウェルビーイング向上に対する社会的要因」. 日本老年社会学会第 64 回大会. 2022 年 7 月 2-3 日 (東京都新宿区)
114. 野口泰司. コロナ禍がもたらした今後の健康課題を考える - 保健医療福祉の連携、データの利活用、健康への影響 - 「地域高齢者への健康影響: コロナ禍における縦断調査結果より」. 第 68 回東海公衆衛生学会学術大会. 2022 年 7 月 2 日 (三重県鈴鹿市)
115. CHANG L, 渡邊勇輝, 山本豪志朗, 岡橋さやか. 没入型バーチャルリアリティを利用した認知リハビリテーション. 第 66 回システム制御情報学会研究発表講演会. 2022 年 5 月 20 日 (京都府京都市)

#### 2021 年度

116. 精山明敏, 小西奈美, 岡橋さやか, モンテ カセム. 視覚情報が触覚に与える影響の NIRS による検討. 第 99 回日本生理学会大会. 2022 年 3 月 16-18 日 (ハイブリッド開催)
117. 黒澤泰, 三橋翔太, 松平泉, 中川威, 増井幸恵. Hard-to-Survey 概念を再考する開けられる扉/開けづらい扉/鍵のない扉. 日本発達心理学会第 33 回大会. 2022 年 3 月 5-7 日 (オンライン開催)
118. 中川威, 安元佐織, 樺山舞, 松田謙一, 権藤恭之, 神出計, 池邊 一典. 高齢者における日々の社会的交流と感情の関連日誌調査による検討. 日本発達心理学会第 33 回大会. 2022 年 3 月 5-7 日 (オンライン開催)
119. 秋田喜代美, 成田健一, 伊藤大幸, 江尻桂子, 奥村優子, 中川威, 畑野快, 林創, 武藤世良, 氏家達夫. 誰もが無理なく楽しく活躍できる面白い学会とは? 日本発達心理学会の将来を展望した研究活性化に向けて. 日本発達心理学会第 33 回大会. 2022 年 3 月 5-7 日 (オンライン開催)

120. 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井手一茂, 齋藤民, 近藤克則, 尾島俊之. 高齢者・認知症にやさしいまち指標と健康・幸福の関連: JAGES 横断研究. 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
121. 小嶋雅代, 渡邊良太, 安岡実佳子, 竹内研時, 齋藤民, 寺部健哉, 小嶋俊久, 尾島俊之, 近藤克則. 地域在住高齢者における関節リウマチの診断とフレイル、社会的背景に関する検討: JAGES 横断研究. 第 32 回日本疫学会学術総会 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
122. 林尊弘, 野口泰司, 渡邊良太, 阿部紀之, 辻大士, 斉藤雅茂, 近藤克則. フレイルの社会的側面の構成要素と要介護認定発生との関係: JAGES2016 コホート研究. 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
123. 渡邊良太, 辻大士, 井手一茂, 野口泰司, 安岡実佳子, 上地香杜, 佐竹昭介, 近藤克則, 小嶋雅代. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の基本チェックリストは要介護認定発生を予測するか - JAGES コホート研究 -. 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
124. 砂山真琴, 西山毅, 渡邊美貴, 大谷隆浩, 野口泰司, 野木村茜, 柴田清, 中川弘子, 山田珠樹, 鈴木貞夫. 壮年期および高齢期における、HbA1c と転倒に基づく骨折との関連の縦断研究: J-MICC Study 岡崎研究. 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
125. 尚爾華, 野口泰司, 北澤一利, 中野匡隆, 肥田幸子, 渡辺弥生, 森満. 介護予防施策としての「通いの場」が参加者の心身に及ぼす影響: アクションリサーチによる事例報告. 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
126. 齋藤民, 杉本大貴, 小野玲, 中川威, 野口泰司, 小松重弥音, 内田一彰, 黒田佑次郎, 荒井秀典, 櫻井 孝. 家族の介護負担感と認知症者の死亡リスク: もの忘れ外来患者コホート (NCGG-STORIES). 第 32 回日本疫学会学術総会. 2022 年 1 月 26-28 日 (オンライン開催)
127. 鈴木賢人, Luciano H O Santos, 劉暢, 植嶋大晃, 山本豪志朗, 杉山治, 岡橋さやか, 黒田知宏. リハビリテーション支援のための動作推定を用いた上肢機能評価及び可視化. 第 196 回 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会. 2022 年 1 月 11-12 日 (ハイブリッド開催)
128. 齋藤民, 中川威, 野口泰司, 小松重弥音, 石原真澄, 小野玲. 認知症者の社会参加と死亡リスク: もの忘れ外来患者コホート (NCGG-STORIES). 第 80 回日本公衆衛生学会総会. 2021 年 12 月 21-23 日 (ハイブリッド開催)
129. 窪優太, 野口泰司, 林尊弘. COVID-19 禍における地域在住高齢者の孤食と体重変動に関する縦断研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会. 2021 年 12 月 21-23 日 (ハイブリッド開催)
130. 林尊弘, 野口泰司, 窪優太. COVID-19 流行下における社会的フレイルと抑うつとの関

- 連および運動習慣による緩衝影響. 第 80 回日本公衆衛生学会総会. 2021 年 12 月 21-23 日 (ハイブリッド開催)
131. 野口泰司, 中川威, 小松亜弥音, 石原眞澄, 進藤由美, 斎藤民. 軽度要介護認定高齢者における社会的機能と重度化の関連: 2 年間の縦断研究. 第 8 回日本地域理学療法学会学術大会. 2021 年 12 月 4-5 日 (オンライン開催)
132. 小野玲, 櫻井孝, 杉本大貴, 内田一彰, 小松亜弥音, 野口泰司, 中川威, 荒井秀典, 斎藤民. 病型別にみたもの忘れ外来受診者の生命予後と死亡原因. 第 40 回日本認知症学会学術集会. 2021 年 11 月 26-28 日 (オンライン開催)
133. 清家理, 竹内さやか, 萩原淳子, 猪口里永子, 伊藤眞奈美, 天白宗和, 溝神文博, 鈴木宏和, 堀部賢太郎, 斎藤民, 武田章敬, 櫻井孝, 荒井秀典. MCI または認知症を有する人と家族介護者への心理社会的教育支援プログラムの RCT-Pilot study-第 40 回日本認知症学会 学術集会 2021 年 11 月 26-28 日 (オンライン開催)
134. 野口泰司, 林尊弘, 窪優太, 富山直輝, 越智亮, 林浩之. 地域在住高齢者における社会参加状況の変化と抑うつ発生の関連: COVID-19 流行期間中の縦断研究. 第 8 回日本予防理学療法学会学術大会. 2021 年 11 月 13 日 (オンライン開催)
135. Komatsu A, Nakagawa T, Noguchi T, Saito T. Involvement in Decision-Making for Daily Care and Cognitive Decline among Older Adults Who Need Care in Japan. GSA 2021 Annual Scientific Meeting. Nov 13-15 2021 (Online)
136. Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Family Caregiving and Depression among Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study during the COVID-19 Pandemic. GSA 2021 Annual Scientific Meeting. Nov 13-15 2021(Online)
137. Cho J, Nakagawa T, Dannii Y. Y. Influence of Social Determinants on Self-Rated Health in Three Countries of East Asia . GSA 2021 Annual Scientific Meeting. Nov 13-15 2021 (Online)
138. Nakagawa T, Noguchi T, Komatsu A, Ishihara M, Saito T. Trajectories of Functional Health Following Stroke: The Role of Social Resources. GSA 2021 Annual Scientific Meeting. Nov 13-15 2021(Online)
139. 野口泰司, 小野玲, 中川威, 石原眞澄, 小松亜弥音, 斎藤民. 認知症者における行動心理症状と予後の関連: NCGG-STORIES. 第 8 回日本予防理学療法学会学術大会. 2021 年 11 月 13 日 (オンライン開催)
140. Nakagawa T, Noguchi T, Saito T. Prejudice and discrimination against people with dementia. The 15th International Congress of the Asian Society Against Dementia. Nov 6-10 2021(Online)
141. Saito T, Arai H, Seike A, Kondo I, Osawa A, Sakutai T, Kinoshita F. Group-based dyadic support programs for persons with mild cognitive impairment or dementia and their family caregivers. The National Academy of Medicine (NAM)'s inaugural

- Healthy Longevity Global Innovator Summit. Sep 13-14.22 2021 (Online)
142. 窪優太, 野口泰司, 林尊弘, 富山直輝, 林浩之. Coronavirus disease 2019 感染症緊急事態宣言が地域在住高齢者の抑うつに与える影響. 第 55 回日本作業療法学会. 2021 年 9 月 11-12 日 (オンライン開催)
143. Noguchi T, Kakizaki M, Wakabayashi R, Nakagawa H, Nishiyama T, Watanabe M, Hosono A, Shibata K, Ichikawa M, Kamishima H, Watanabe H, Ema K, Nagaya K, Yamada T, Suzuki S. Social inequalities in second-hand smoking among Japanese adults: A repeated cross-sectional study . World Congress of Epidemiology 2021. Sep 3-6 2021 (Online)
144. 増井幸恵, 榎藤恭之, 中川威, 春日彩花, 小川まどか, 稲垣宏樹, 吉田祐子, 堀紀子, 小野口航, 蔡羽淳, 松本清明, 菊地亜華里, 程雨田, 武藤拓之, 石岡良子. 後期高齢者・超高齢者における老年的超越がその後精神的健康に及ぼす影響の年齢差の検討: SONIC 研究データを用いた縦断的検討. 日本心理学会第 85 回大会. 2021 年 9 月 1 日-8 日 (オンライン開催)
145. 中川威, 安元佐織, 樺山舞, 松 謙一, 榎藤恭之, 神出計, 池邊一典. 今夜の睡眠が翌日の疲労感と関連する: 高齢者を対象とする日誌調査. 日本心理学会第 85 回大会. 2021 年 9 月 1 日-8 日 (オンライン開催)
146. 野寫一平, 山本周平, 佐藤正彬, 塚越大智, 竹田周平, 野口泰司, 和田有子, 瀬戸達一郎, 堀内博志. せん妄患者に対する早期リハ介入の在院日数抑制効果—心血管術後 ICU における介入—. 第 5 回日本循環器理学療法学会学術大会. 2021 年 8 月 28 日 (オンライン開催)
147. Koyama S, Saito M, Cable N, Ikeda T, Tsuji T, Noguchi T, Abbas H, Miyashiro I, Osaka K, Kondo K, G Watt R, Aida J. Examining the associations between oral health and social isolation: A cross-national comparative study between Japan and England. International Association for Dental Research 2021. July 21 2021 (Online)
148. 杉本大貴, 櫻井孝, 小松亜弥音, 野口泰司, 中川威, 木村藍, 小野玲, 齋藤民. 認知症患者の希望する死亡場所と実際に関する実態調査. 第 10 回日本認知症予防学会学術集会. 2021 年 6 月 24-26 日 (ハイブリッド開催)
149. Baldock J, Cha Y, Chung E K H, Goel V, Huang B S-T, Nakagawa T, Okamoto S, Senevirathne S, Rini S S, Irving J, Meyer C. Pause, pivot and proceed! Undertaking Study and Research in Times of Uncertainty. IAGG 2021 E-Conference. Jun 23 2021 (Online)
150. 小松亜弥音, 中川威, 野口泰司, 石原眞澄, 齋藤民. 在宅要介護高齢者における介護への意思決定関与に関連する要因の検討. 日本老年社会学会第 63 回大会. 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
151. 野口泰司, 窪優太, 林尊弘, 富山直輝, 越智亮, 林浩之. 社会的孤立の変化と認知機能低

- 下の関連一COVID-19 流行期間における縦断研究一 . 日本老年社会科学会第 63 回大会. 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
152. 西田裕紀子, 増井幸恵, 中川威, 権藤恭之. 高齢者のパーソナリティと健康. 日本老年社会科学会第 63 回大会. 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
153. 中川威, 野口泰司, 小松亜弥音, 石原真澄, 斎藤民. 心疾患罹患に伴う人生満足度の変化. 日本老年社会科学会第 63 回大会. 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
154. 斎藤民. 独居高齢者の健康と生活像: 社会老年学における知見から. 第 32 回日本老年学会総会 合同シンポジウム. 2021 年 6 月 12 日, 愛知県名古屋市.
155. 伊藤大介, 斎藤民, 近藤克則. 地域在住高齢者における地域包括支援センター等の相談機関への援助要請と抑うつとの関連: 地域生活課題の重篤化予防の観点から: JAGES 横断研究. 日本老年社会科学会第 63 回大会. 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
156. 福定正城, 斉藤雅茂, 近藤克則, 斎藤民. 高齢者の被対面交流と精神的健康との関連: JAGES2019 横断研究. 日本老年社会科学会第 63 回大会 2021 年 6 月 12 日 (オンライン開催)
157. 杉本大貴, 櫻井孝, 野口泰司, 小松亜弥音, 中川威, 植田郁恵, 大沢愛子, 李相侖, 小野玲, 斎藤民. もの忘れ外来受診者における生命予後の予測モデルの作成. 第 63 回日本老年医学会学術集会. 2021 年 6 月 11 日 (オンライン開催)
158. 白井裕也, 松永直道, 立松典篤, 行徳真波, 小林達也, 井上倫恵, 竹中裕人, 野口泰司, 野嶋一平, 杉浦英志. 高齢者における生体電気インピーダンス法による位相角とプレフレイルの関連. 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2021 年 6 月 11 日 (ハイブリッド開催)